

## 総括

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 会長 高田 厚照

2020 年に初めて確認された新型コロナウイルス感染症は収束の気配がみられぬまま 2 年が経過しました。その間、当会の事業も中止を余儀なくされましたが、社会では Web を使用したオンラインによる会議や授業・講演会の開催が定着するなか、当会でも 2021 年度は理事会や事務局・事業局の部会会議については Web 会議システムを併用して情報の共有を図り、事業部ではオンラインによる事業開催に切り替えることにより例年通り企画された講演会等を開催することができました。当初は会員自身がオンライン講習に不慣れであることや主催者側も手探りの開催という状況で問題点もありましたが、時間の経過とともに運営自体が軌道に乗り、学術部の事業や基礎統計学の勉強会「大臨技統計セミナー」では最終的にはほぼ例年通りの参加者がありました。ただ、他団体との共催で対面での開催が主となる府民参加型の講習会や新年互礼会は感染拡大防止の関係で 2 年続けての中止となりました。一方、渉外部が長年取り組んできた献血推進活動では厚生労働大臣表彰を受賞することができました。学会関係では 2020 年度中止した大臨技医学検査学会は 2022 年度の全国学会の開催を担当する関係で第 6 回開催は延期させていただきました。2022 年 5 月に開催が決定した第 71 回日本医学検査学会のハイブリッド開催に向け実行委員会を立ち上げて特別企画の決定、一般演題の募集開始、全国から来阪する参加者の皆様の期待に添えるように大阪らしい特色を出せる学会を準備しています。引き続き会員の方のご支援・ご協力をお願いいたします。大阪府地域医療推進協議会より当会として大阪府・大阪府市に対し「新生児聴カスクリーニング検査」の予算を申請しました。

2022 年度も新型コロナウイルスの感染蔓延化により引き続き Web での開催が主となりますが、社会状況を見据え開催形式も対面形式を模索しながら事業を開催していきます。公益事業として府民を対象とする渉外部が担当する府民公開講座や各種フォーラム（他団体との共催を含む）、各種疾患予防啓発活動、がん検診啓発活動、さらに地域に貢献するため各自治体の健康展への参加を推進します。生涯教育を通して府民の健康に寄与する公益事業である学術部の各種研修会、精度管理部のデータ標準化事業も引き続き推進し、会員の求めるニーズに対応いたします。組織部が担当するチーム医療推進事業、検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会や日本臨床衛生検査技師会（日臨技）連携事業の地域ニューリーダー育成講習会、認知症対応力向上講習会など組織力向上のための事業や地区関連事業を開催します。新年互礼会（2023 年）では行政や関連団体と当会の緊密な連携を築き、地域医療推進協議会関連団体と協力し大阪府民の健康に寄与してまいります。また、2022 年度の最大の事業である第 71 回日本医学検査学会（5 月 21 日～22 日）開催に向け全力で取り組みます。昨年施行されましたタスクシフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会の開催も 2022 年度より 1 回/月のペースで開催する予定です。2021 年度（令和 4 年）第 11 回（2 月）理事会および第 12 回（3 月）理事会で承認された 2022 年度（令和 4 年度）事業計画・収支予算をご報告いたします。

### ■ 事業分類

#### 公 1 事業（公 1）

府民に対して健康に関係する体験学習、公開講座等を開催し、府民が健康に関する知識を習得することにより公衆衛生の向上に寄与する事業

## 公2事業（公2）

臨床検査の学術研究及び研修会等を開催することにより医療技術者の資質向上に寄与する事業

## 公3事業（公3）

臨床検査の精度管理・データ標準化を目的とする指導事業

## 他1事業（他1）

会員の相互扶助等事業

### I 基本計画

公益法人としての事業を積極的に進める

1. 府民を対象にした府民の健康増進に寄与する公開講座やイベント事業の推進（公1）  
府民健康フォーラム、大臨技・大放技合同フォーラム、看護の日、市民健康展、がん検診啓発活動、その他の公益事業を行う
2. チーム医療の推進に貢献できる事業の開催（公2）  
栄養サポート、院内感染防止、糖尿病療養指導、その他、多職種がチームで医療を行う公益事業を行う
3. 臨床検査技師の知識・技術の向上を目指す専門的な研修会の開催（公2、他1）  
新人技師、中堅技師、管理職技師に役に立つ研修や情報の提供を行い、学術技能の研鑽をする事業を行う
4. 精度保証事業（データ標準化を含む）の推進（公3）  
日臨技とタイアップして大阪府下の検査施設の精度保証事業を進める
5. 臨床検査技師による臨床検査の説明・相談ができる環境を支援する（公2）
6. 卒前教育と卒後教育の橋渡しの事業（公2）  
教育機関の教員の方々と連携して大臨技教育フォーラム等の事業を行う

### II 事務局

#### 1. 総務庶務部

- 1) 組織運営の充実（他1、法人管理）
  - (1) 定款、諸規程等の管理
  - (2) 総会、理事会および各種委員会の開催
  - (3) 各種表彰の充実
  - (4) 各教育機関との連携
- 2) 事務体制の強化（他1、法人管理）
  - (1) 会員管理システムの充実
  - (2) 大臨技会員証の管理
  - (3) 大臨技登録学生の管理
  - (4) 大阪府への各種報告
- 3) 府民ならびに関連団体との交流の推進
  - (1) 府民への情報公開（他1、法人管理）
  - (2) 他団体との情報共有（公1～3、法人管理）
  - (3) 大阪府地域医療推進協議会への参画（他1、法人管理）
  - (4) 新年互礼会の開催および運営（他1）

## 2. 広報編集部

### 1) 会員への広報の充実（他1）

- (1) 大臨技ニュースの発行
- (2) 大臨技ホームページの更新
- (3) 月間行事予定表の作成
- (4) 大臨技行事スケジュールの管理
- (5) 記念誌年輪の発行

## Ⅲ 財務局

### 1. 財務管理の充実（他1、法人管理）

## Ⅳ 事業局

### 1. 学術部

- 1) 公益事業としての部門別研修会・講演会の開催、これらの事業を円滑に開催するための部会会議を開催（公1～3）
- 2) 他の事業部の企画への協力（公1～3）
- 3) 他団体（大阪府診療放射線技師会、大阪府薬剤師会、大阪府栄養士会、大阪府看護協会等）との学術交流活動への協力（企画への参加、講師推薦）（公1）
- 4) 学会の企画および運営（公2）
  - (1) 第71回日本医学検査学会
  - (2) 大臨技医学検査学会

### 2. 組織部

#### 1) 地域の会員相互の交流強化（他1）

施設連絡者会

#### 2) 地域オープンセミナーの開催（各地区1回/年）（公2）

#### 3) 新人を対象とした研修会（他1）

新入会員および未入会者を対象に技師会活動や臨床検査技師としての理解を深めるための研修会

#### 4) 技師長会（他1）

検査室の管理運営に役立つ情報の提供および施設間の連携をとり、組織の強化につなげる

#### 5) 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会の開催（公2）

#### 6) 府下教育機関と共同事業（大臨技教育セミナー）を開催（公2）

#### 7) 日臨技事業の地域展開

地域ニューリーダー（他1）、認知症研修会（公2）

#### 8) その他（公2）

チーム医療部門との連携により、技師のチーム医療への参画を支援

##### (1) 糖尿病療養指導部会

###### ①糖尿病療養指導定例勉強会

・糖尿病と療養指導に関する知識と技術を得るための講演およびグループディスカッション

###### ②糖尿病療養指導士講演会

・多様化する糖尿病治療において糖尿病療養指導士の役割を考える

## (2) ICT 部会

### 定期講習会

- ・感染症の基礎知識
- ・感染対策についての講習会

## (3) NST・褥創部会

- ・NST・褥瘡に関する講演会

## (4) 内視鏡検査部会

- ①多職種公開講座・内視鏡検査バーチャル施設見学及び実技講習会
  - ・内視鏡検査の基礎とスコープおよび関連機器操作
- ②WEB 勉強会
  - ・内視鏡検査に関する臨床検査・専門技術知識習得

## 3. 渉外部

### 1) 府民参加型健康啓発事業の開催（公1）

#### (1) 他団体との共催事業：講演会の開催

##### ①大臨技・大放技合同フォーラム

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会

##### ②府民健康フォーラム

一般社団法人 大阪府薬剤師会、公益社団法人 大阪府栄養士会

#### (2) 他団体事業への参加

##### ①看護フェスタおおさか

公益社団法人 大阪府看護協会主催「看護の日」事業において、臨床検査技師や臨床検査について紹介する

##### ②リレー・フォー・ライフ・ジャパン大阪あさひ

公益財団法人 日本対がん協会主催事業で、がん検診の啓発を通して臨床検査技師の役割を紹介する

#### (3) 啓発活動

##### ①大臨技がんフォーラム：「がん」に関する講演会の開催

##### ②予防啓発講演会：特定の疾患についての講演会を開催

#### (4) 健康展（吹田市、摂津市、豊中市、他）への参加

### 2) 障がい者に対する理解と協力（公2）

手話講習会／講演会を開催し、聴覚障がい者に対する理解を深め、簡単な手話を学ぶ

### 3) 献血推進への協力（他1）

府民の皆さんに献血への協力の呼びかけを行う

## 4. 精度管理部

### 1) 臨床検査データ標準化サーベイ（公3）

新鮮血を試料としたサーベイを実施することにより、施設間差是正を推進するとともに、精度保証施設認証の取得を目指す

### 2) 大臨技実務統計セミナー（公2）

精度管理に関する正しい知識、技術を習得するための統計セミナー（8回シリーズ）の開催

2022年度収支予算書  
2022年 4月 1日 から 2023年 3月31日まで

(公社)大阪府臨床検査技師会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	1,000	-
会費収益	24,500,000	24,050,000	450,000
事業収益	11,555,000	13,275,000	△ 1,720,000
受取補助金等	436,000	1,500,000	△ 1,064,000
雑収益	720,000	800,000	△ 80,000
経常収益計	37,212,000	39,626,000	△ 2,414,000
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	4,875,000	4,875,000	-
福利厚生費	750,000	750,000	-
旅費交通費	3,012,500	3,061,535	△ 49,035
会議費	2,328,559	3,046,559	△ 718,000
通信運搬費	1,150,819	2,253,273	△ 1,102,454
消耗品費	1,575,000	1,193,614	381,386
印刷製本費	1,472,500	3,808,492	△ 2,335,992
光熱水費	189,000	189,000	-
会場費	6,370,000	4,412,000	1,958,000
諸謝金	5,430,000	6,037,359	△ 607,359
広報費	604,000	911,000	△ 307,000
賃借料	2,607,000	2,667,000	△ 60,000
支払負担金	300,000	250,000	50,000
減価償却費	700,000	700,000	-
支払手数料	349,500	42,000	307,500
支払保険料	14,000	-	14,000
雑費	68,000	63,000	5,000
管理費			
給料手当	1,625,000	1,625,000	-
福利厚生費	250,000	250,000	-
旅費交通費	230,000	100,000	130,000
会議費	407,941	327,941	80,000
通信運搬費	138,181	362,727	△ 224,546
消耗品費	405,000	400,000	5,000
印刷製本費	510,000	900,000	△ 390,000
光熱水費	81,000	81,000	-
諸謝金	276,000	276,000	-
広報費	120,000	200,000	△ 80,000
賃借料	1,038,000	1,038,000	-
支払手数料	50,000	50,000	-
雑費	285,000	280,000	5,000
経常費用計	37,212,000	40,150,500	△ 2,938,500
当期経常増減額	-	△ 524,500	524,500
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	-	-	-

(2)経常外費用	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減	-	△ 524,500	524,500
一般正味財産期首残高	22,287,967	20,815,853	1,472,114
一般正味財産期末残高	22,287,967	20,291,353	1,996,614
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-
Ⅲ 正味財産期末残高	22,287,967	20,291,353	1,996,614